

広島大学

令和 7 年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜Ⅱ型

解答例又は出題の意図等

文学部 人文学科 歴史学コース

日本史学

科目名：小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和七年度 広島大学光り輝き入試総合型選抜（Ⅱ型）
文学部人文学科 小論文問題 解答例又は出題の意図等

分野

日本史学

問一

歴史とは、過去と現在との間の対話であるが、むしろ過去の諸事件と次第に現れてくる未来の諸目的との間の対話と呼ぶべきである。過去に対する歴史家の解釈も、重要なもの、意味あるものの選択も新しいゴールが次第に現れるに伴って進化する。歴史家の主たる仕事は記録することではなく、評価することである。

歴史とは、現在の目を通して、あるいは現在の問題に照らして過去を見るところに成立する。歴史から学ぶというのは、決してただ一方的な過程ではない。過去の光に照らして現在を学ぶというのは、現在の光に照らして過去を学ぶということも意味している。

歴史の役割は、過去と現在との相互関係を通して両者をさらに深く理解させようとする点にある。そして、過去も未来もそれぞれ同じ時間の一部分だから、過去への関心と未来への関心とが結び合わされている。すなわち、過去・現在・未来は、尽きることはない歴史の鎖のうちに結ばれている。

問二

「日英同盟」が締結された背景には、当時両国がアジアにおけるロシアの膨張に備えて、中国や朝鮮半島における権益を相互に認めることを共同の目的としていたという事情があった。日本にとっては初めての軍事同盟を締結してアジアでの優位を獲得することが狙いであった。

その後、第一次世界大戦がヨーロッパで始まる。日本はこの同盟を理由に連合国側にあつてドイツに宣戦を布告し、青島（チンタオ）のドイツ租借地や南洋群島を占領した。一九二一年七月を前に、中国をめぐってイギリス・アメリカと日本との対立が表面化する。アメリカは、日英同盟が勢力範囲を相互に保障する排他的・軍事的な旧式外交の象徴であると考え、普遍的な国際協力による平和と安定を目ざす理想主義外交に脅威を与えるものとみなすようになった。そして、太平洋地域の現状維持と領土保全を定めた四か国条約に置き換えられた。